

題材名 芸術家の心にふれて  
ねらい

名画（複製画）の鑑賞と鑑賞をより深めるための体験的活動をすることによって、作品のよさなどについて見方や考えを深め、鑑賞の能力を高めることができる内容とする。

主な児童の活動 T（担任の先生）	GT（方波見）	時間
<p>授業が始まる前に、紹介をしてください。（自己紹介でも結構です。）</p>		
<p>1 校内に掲示してある作品や教科書で取り上げられている作家について想起し、鑑賞活動への関心意欲を高める。 学級の実態に合わせて</p> <p>2 本時のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お気に入りの名画を見つけ、作家の表し方を実際に試してみよう。</p> </div> <p>3 クロード＝モネ「ポール・ド・モアの洞窟」を学級全体で鑑賞し、よさを見つけるポイントについて知る。</p> <p>4 複製画を鑑賞し、作品のおもしろさやよいところを見つける。 4点の作品を鑑賞し、自分の好きな作品1点を選ぶ。 ピカソ「鏡の前の若い女」 ロ＝ランサ「黒いマフラーをかぶったエバ・ゲールゴ＝男爵夫人の肖像」 ジャック「マルセイユ港」 ピュッフェ「サンマルタン運河」 鑑賞の視点に沿ってワークシートにまとめる。</p> <p>5 ワークシートにまとめたことをもとに自分の考えを発表する。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、鑑賞の深まりについて確認するとともに、次時の活動への意欲付けをする。</p>	<p>担任と児童とのやりとりの中から、学級の雰囲気や児童の関心・意欲などをつかむ。</p> <p>話し合い活動の中から、鑑賞する視点を見つけていく。</p> <p>よさ                  [「テーマ」・・・描かれている対象は                  「色」・・・特徴的な色づかいは                  「形や線」・・・とらえ方の特徴は                  「筆触」・・・筆づかいは特徴は</p> <p>担任の先生と共に、児童の活動に対して、共感的な言葉かけや鑑賞のヒントとなるようなポイントを助言する。</p>  <p>児童が見つけたおもしろさやよさを賞賛するとともに、おもしろさやよさを共有し、次時の体験的活動へつなげるような解説を加える。</p>	<p>5</p> <p>15</p> <p>15</p> <p>10</p>
<p>休み時間のうちに、水彩絵の具、テーブルなどの作業場所の準備しておく。</p>		
<p>7 自分たちの鑑賞した作品のおもしろさやよさを水彩画に置き換えて実際に試す。 ピカソ・・・多角的に見た形を再構成する。彩度の高い色をそのまま使う。 ロ＝ランサ・・・明度の高い色（白を多く）を使って、形も柔らかく。 ジャック・・・点描で表し、色は画面に並べる。 ピュッフェ・・・直線的な形のとらえ方と、輪郭線に黒を使う。</p>  <p>8 後片付けをして、本時のまとめをする。 活動の振り返りを行い、今後の表現活動に生かせるようにする。</p>	<p>体験活動について、作品毎に実演しながら説明する。 パレットの使い方や水分の調整なども併せて確認しておく。 まずは自分が選んだ作品から、早く終われば別な作品を試せるよう、野菜や樹木、人の手などをあらかじめ印刷して用意しておく。 担任の先生と協力して、個別指導に当たる。あくまで体験活動なので、作品のできにこだわらず、表現のおもしろさやよさが現れるような支援に心がけたい。 鑑賞した作品を時々見て、作者の表現を確認しながらすすめるように促す。</p> <p>活動の賞賛をすると共に、質問等があれば受ける。</p>	<p>10</p> <p>25</p> <p>10</p>

